

追加型投信 / 国内 / 株式

日経平均高配当II

日経平均高配当利回り株ファンドII

ポートフォリオ構築のお知らせ

ファンド情報提供資料
データ基準日: 2024年11月29日

平素は「日経平均高配当利回り株ファンドII」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
当ファンドは2024年11月29日に設定し、市場環境を勘案しつつ、ポートフォリオの構築を行いました。
つきましては、2024年11月29日現在の状況についてご報告いたします。
今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

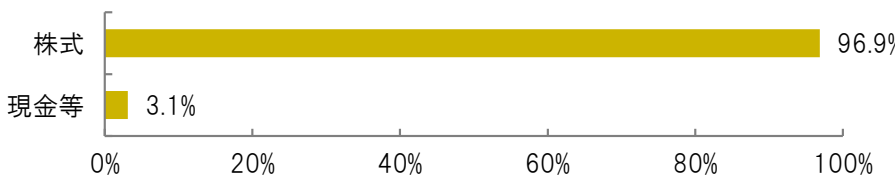
ファンドの基準価額・純資産総額・資産別組入比率 (2024年11月29日時点)

基準価額

10,007円

純資産
総額

2.0億円

資産別
組入比率【ご参考】
予想配当利回り
データ● ファンド平均 **4.8%** ● 日経平均※ **1.9%**※日本の株式市場全体の予想配当利回りを説明するために表示しています。
(出所)日本経済新聞社のデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

当ファンドの3つのポイント

\ POINT /

1

30銘柄を選択

日経平均株価採用銘柄の中から、予想配当利回りの上位30銘柄に投資を行います。

\ POINT /

2

相対的に高い予想配当利回り

当ファンドは予想配当利回り上位30銘柄で構成されるため、日経平均株価の予想配当利回りより高くなる傾向があります。

\ POINT /

3

投資銘柄の配当収益に相当する分配をめざします

■当ファンドの分配金計算式

$$\frac{\text{分配金 (1万口当たり、税引前)}}{\text{基準価額 (1万口当たり)}} \times \frac{\text{経費控除後の 予想配当利回り}}{\text{決算回数 (年2回)}}$$

※ 本資料は日経平均高配当利回り株ファンドIIの運用状況を投資家のみなさまにご紹介するために作成したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモなどについては投資信託説明書(交付目論見書)をご確認いただく必要があります。

■基準価額は、1万口当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。 ■信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。 ■資産別組入比率は純資産総額に対する割合です。 ■表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。 ■「ファンド平均」は、基準日時点での組入銘柄の予想配当利回りを加重平均して算出したものであり、「日経平均」は、基準日時点での日経平均株価採用全銘柄の予想配当利回りを加重平均して算出したものです。 ■上記は、各計算期毎における当ファンドの分配金算出の際の目安となる考え方をご説明したものです。このため、実際の分配金額と必ずしも一致するわけではなく、将来の分配金額を示唆、保証等するものではありません。運用状況によっては、分配金が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。 ■信用リスク懸念や無配懸念があると委託会社が判断した銘柄は、投資対象銘柄から除外することがあります。また、当該銘柄を保有している場合は売却し、保有銘柄数は30を下回ることがあります。 ■原則として年2回リバランス(組入銘柄の入替えと組入比率の調整)を行います。 ■組入れた30銘柄は原則、次回リバランス時まで保有します。なお、リバランス対応中は、保有銘柄数が30を上回ることがあります。 ■市場動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。 ■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

日経平均高配当利回り株ファンドⅡ

ポートフォリオ全銘柄紹介（2024年11月29日時点）

	銘柄名	組入比率	予想配当利回り
1	武田薬品工業	5.9%	4.8%
2	商船三井	5.9%	5.8%
3	MS&ADインシュアランス グループホールディングス	5.8%	4.3%
4	INPEX	5.8%	4.4%
5	日本製鉄	5.8%	5.2%
6	本田技研工業	5.8%	5.3%
7	川崎汽船	5.8%	5.0%
8	日本郵船	5.8%	5.4%
9	日本たばこ産業	5.7%	4.6%
10	ソフトバンク	5.4%	4.5%
11	野村ホールディングス	5.2%	4.3%
12	アステラス製薬	4.8%	4.7%
13	神戸製鋼所	3.8%	5.8%
14	マツダ	3.8%	5.7%
15	JFEホールディングス	3.8%	5.9%
16	大和証券グループ本社	2.6%	4.4%
17	いすゞ自動車	2.3%	4.6%
18	双日	2.0%	4.9%
19	AGC	1.9%	4.5%
20	日立建機	1.7%	5.2%
21	東ソー	1.2%	4.9%
22	王子ホールディングス	1.2%	4.3%
23	アマダ	0.9%	4.3%
24	丸井グループ	0.8%	4.4%
25	日本精工	0.6%	5.2%
26	ジェイテクト	0.6%	4.8%
27	NTN	0.5%	4.7%
28	シチズン時計	0.5%	5.1%
29	UBE	0.5%	4.6%
30	デンカ	0.4%	4.7%

（出所）日本経済新聞社のデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

■上記は当ファンドの理解を深めていただくため、2024年11月29日時点における当ファンドの組入銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組入れることを保証するものではありません。■表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。■各銘柄の組入比率は純資産総額に対する割合です。■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

日経平均高配当利回り株ファンドⅡ

ファンドの目的・特色

わが国の株式を主要投資対象とし、主として配当収益の確保および中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

特色1 わが国の株式を主要投資対象とします。

- 主として、日経平均株価に採用されている企業の株式に投資を行います。
- 株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。

日経平均株価とは、東京証券取引所プライム市場上場銘柄のうち代表的な225銘柄を対象として日本経済新聞社により算出、公表される株価指数です。

当指数は、増資・権利落ち等の市況とは無関係の株価変動要因を修正して連続性を持たせたもので、わが国の株式市場動向を継続的に捉える指標として、広く利用されています。同指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。日本経済新聞社は本商品を保証するものではなく、本商品について一切の責任を負いません。

特色2 主として、日経平均株価採用銘柄の中から、予想配当利回りの上位30銘柄に投資を行います。

- 投資にあたっては、流動性を勘案して銘柄ごとの組入比率を決定します。
- 信用リスク懸念や無配懸念があると委託会社が判断した銘柄は、投資対象銘柄から除外することがあります。また、当該銘柄を保有している場合は売却し、保有銘柄数は30を下回ることがあります。
- 原則として年2回リバランス(組入銘柄の入替えと組入比率の調整)を行います。

- ・日経平均株価採用銘柄の変更が判明している場合は、変更後の採用銘柄の中から予想配当利回りの上位30銘柄を選択します。
- ・組入れた30銘柄は原則、次回リバランス時まで保有します。
なお、リバランス対応中は、保有銘柄数が30を上回ることがあります。

特色3 年2回の決算時(3・9月の各5日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。

- 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

※ 分配対象収益とは、経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等をいいます。

分配金額の決定にあたっては、配当収入(経費控除後)の水準を勘案します。

※ 分配金額の決定にあたっては、予想配当利回りを用いて配当収入を計算します。

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
(初回決算日は、2025年3月5日です。また、収益の分配は、原則として第2回決算日(2025年9月5日)から行う予定です。)

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

日経平均高配当利回り株ファンドⅡ

投資リスク

基準価額の変動要因: 基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスクです。上記は主なりスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの費用

◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料…購入価額に対して、**上限2.20%(税抜 2.00%)**販売会社が定めます。くわしくは、販売会社にご確認ください。
信託財産留保額…ありません。

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)…日々の純資産総額に対して、**年率0.693%(税抜 年率0.63%)**をかけた額

その他の費用・手数料 ・監査法人に支払われるファンドの監査費用 ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※その他の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。 ※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時にファンドから支払われます。 ※ファンドの費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

販売会社情報一覧表(2024年12月6日現在)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社三菱UFJ銀行(12月20日から取扱開始)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)(12月20日から取扱開始)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○

本資料に関するご注意事項

- 本資料は三菱UFJアセットマネジメントが作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

委託会社(ファンドの運用の指図等)
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

- お客さま専用フリーダイヤル:
0120-151034(受付時間/営業日の9:00~17:00)
- ホームページアドレス:
<https://www.am.mufj.jp/>

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)
三菱UFJ信託銀行株式会社

設定・運用
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会